

復興庁 第2回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム

- 令和5年度から開始したリビングラボ実証事業の進捗状況や課題等を共有し、今後の方向性を議論するため、シンポジウムを開催（約190名参加）。
- 同シンポジウムにて、民間企業8社・7市町村による6つの実証事業について報告するとともに、「浜通り復興リビングラボ宣言」が取りまとめられた。

○日時：令和6年2月28日（水） 13:30～17:00

○会場：富岡町文化交流センター 学びの森 ※オンライン併用

○参加者：約190名

福島浜通り地域等13市町村（いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）

：37名（うち首長・副首長6名）

民間企業：17社 60名

パートナー：40名（福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、メタバース推進協議会）

学術連携パートナー：4名（福島大学）

復興庁関係：17名（平木副大臣、開出事務局長、宇野統括官、荒井局長他）

その他（一般、メディア）：28名

<実証事業の進捗状況報告>

令和5年度から実施しているリビングラボ実証事業として、**民間企業8社・7市町村から6事業の報告**があり、福島大学・小山教授、東京大学・近藤准教授が講評。

①(株)オリエンタルコンサルタンツ・(株)NTT-ME・NTTインフラネット(株)

×富岡町・浪江町 3D都市モデルのまちづくりへの活用方策の検証

②(株)ウェザーニューズ×浪江町

災害被害情報収集システムの日常活用による安全・安心なまちづくり支援

③(株)DeNA×いわき市・富岡町

防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、3Dアートワークショップの実施

④URシステムズ(株)×南相馬市

ChatGPTを活用した市民サービスの向上
(空き家等照会対応サービスを事例として)

⑤(株)ゼンリン×大熊町・双葉町・浪江町

ドライブレコーダー画像を活用した
道路変化点（道路修繕必要箇所）の検知

⑥(株)フジタ×南相馬市・飯館村

ドローンを活用した山林測量、山林管理の生産性向上



進捗状況報告の様子

○石垣参事官から「浜通り復興リビングラボの今後に向けて」説明

・浜通り復興リビングラボについて、コンセプト、令和5年度の実施状況及び今後の予定を説明。

○先進事例紹介①(MONET Technologies(株)×奥州市)

・岩手県奥州市での医療MaaSの取組について紹介。

○先進事例紹介②(パナソニックホームズ(株))

・福島県伊達市でのスマートシティの取組について紹介。

○ハイレベル・セッション（モデレーター：福島大学・小山教授）

・F-REI・山崎理事長、富岡町・山本町長、浪江町・吉田町長、フジタ浅川専務、オリエンタルコンサルタンツ・野崎社長、に登壇いただき、浜通り地域等におけるリビングラボの方向性について議論。

・住民からの具体的な生活環境の課題吸い上げができる仕組みづくりが課題、広域で連携して共通課題を解決したい、想いを一つに、ワンチームでチャレンジしていくことが大切、地元企業に成果を伝承し共創したい、心の豊かさを求める取組が出来ると良い、魅力ある浜通りを次世代に引き継ぎ、得られた知見を世界に発信していきたい、といった意見があった。

・議論の成果として、「浜通り復興リビングラボ宣言」を取りまとめた。



平木副大臣開会挨拶



先進事例紹介



平木副大臣と登壇者の集合写真



ハイレベル・セッション